

【2月のテーマ】 冬のヨシ原の生きもの

案内人：小田谷嘉弥（鳥の博物館学芸員）
弘實さと子（鳥の博物館市民スタッフ）



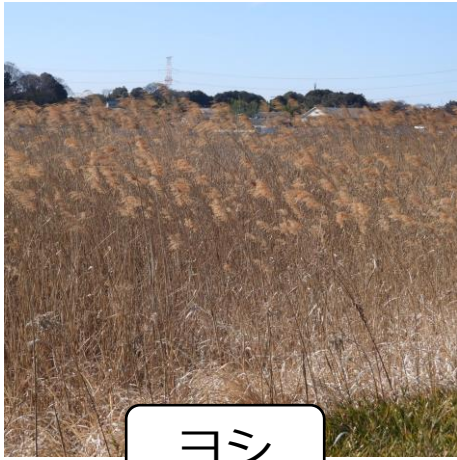
- ▲ヨシ原の中にセッカが隠れています。どこにいるか見つけられますか？
（答えは裏面）冬のヨシ原は、生きものの餌場や隠れ家となっています。

手賀沼の岸から浅瀬には、丈の高い植物の草原が広がっています。このような草原は、主な構成種はヨシであることから「ヨシ原」と呼ばれています。ヨシ原には多くの鳥や生きものがあつまりますが、それはどうしてなのでしょう？ 沼の生態系の中でヨシ原がどのような役割を果たしているのか、観察してみましょう。

2023年2月11日（土）

車や自転車に注意しましょう。水田や私有地では、マナーを守って観察しましょう。

ヨシ原を構成する植物



ヨシ



マコモ



ヒメガマ

ヨシ原を利用する鳥たち



餌場

ヒメガマの新芽を食べるオオバン

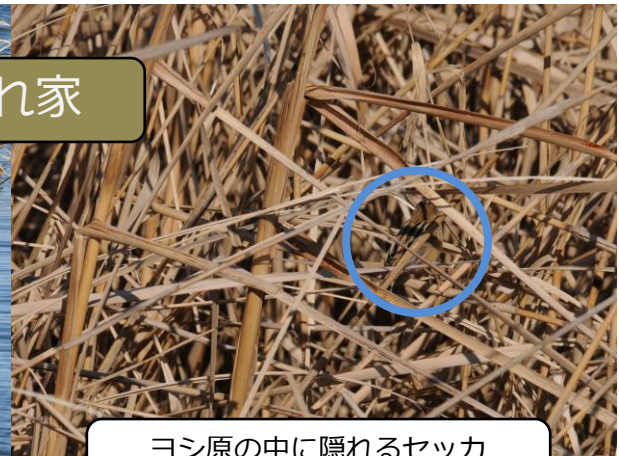


ヨシの茎の中で越冬するカイガラムシの仲間を食べるオオジュリン



ヨシ原の中に隠れるコガモの群れ

隠れ家



ヨシ原の中に隠れるセッカ
(青い丸の中にいます)